

Ⅲ だれもがいつまでも学ぶことができるために ～教育分野～

政策 31 地域に開かれた教育を進める

【38】学校応援団推進事業

学校応援団は、小学校の児童および地域のために、学校教育に支障のない範囲で学校・地域間の人材活用と学校施設の有効活用を図る組織で、PTAや町会・自治会、青少年委員などの地域住民を主体とした、小学校を応援する組織です。放課後等の小学校で児童が遊び・学び・読書などの居場所として過ごせる仕組み（児童放課後等居場所づくり事業）を、学校応援団が地域人材を確保して担います。

計画期間中に、全小学校で「児童放課後等居場所づくり事業」を開始します。また、学校内にある学童クラブと連携し、放課後子どもプラン事業を順次、実施します。

計画目標 (～22年度)	19年度末 実績見込み	今後の 必要事業量	年度別計画			
			20年度	21年度	22年度	合計
65校	16校	49校	20校	20校	9校	整備 49校 (累計 65校)
事業費(百万円)			143	235	280	658

事業執行部課・・・教育委員会事務局生涯学習部生涯学習課

学校応援団の設置状況

年度	設置校数	
平成 16 年度	2 校	高松小、豊玉南小
平成 17 年度	4 校	練馬第二小、上石神井小、大泉学園緑小、南が丘小
平成 18 年度	4 校	大泉北小、早宮小、仲町小、関町小
平成 19 年度	6 校	南町小、中村西小、南田中小、八坂小、春日小、豊玉東小